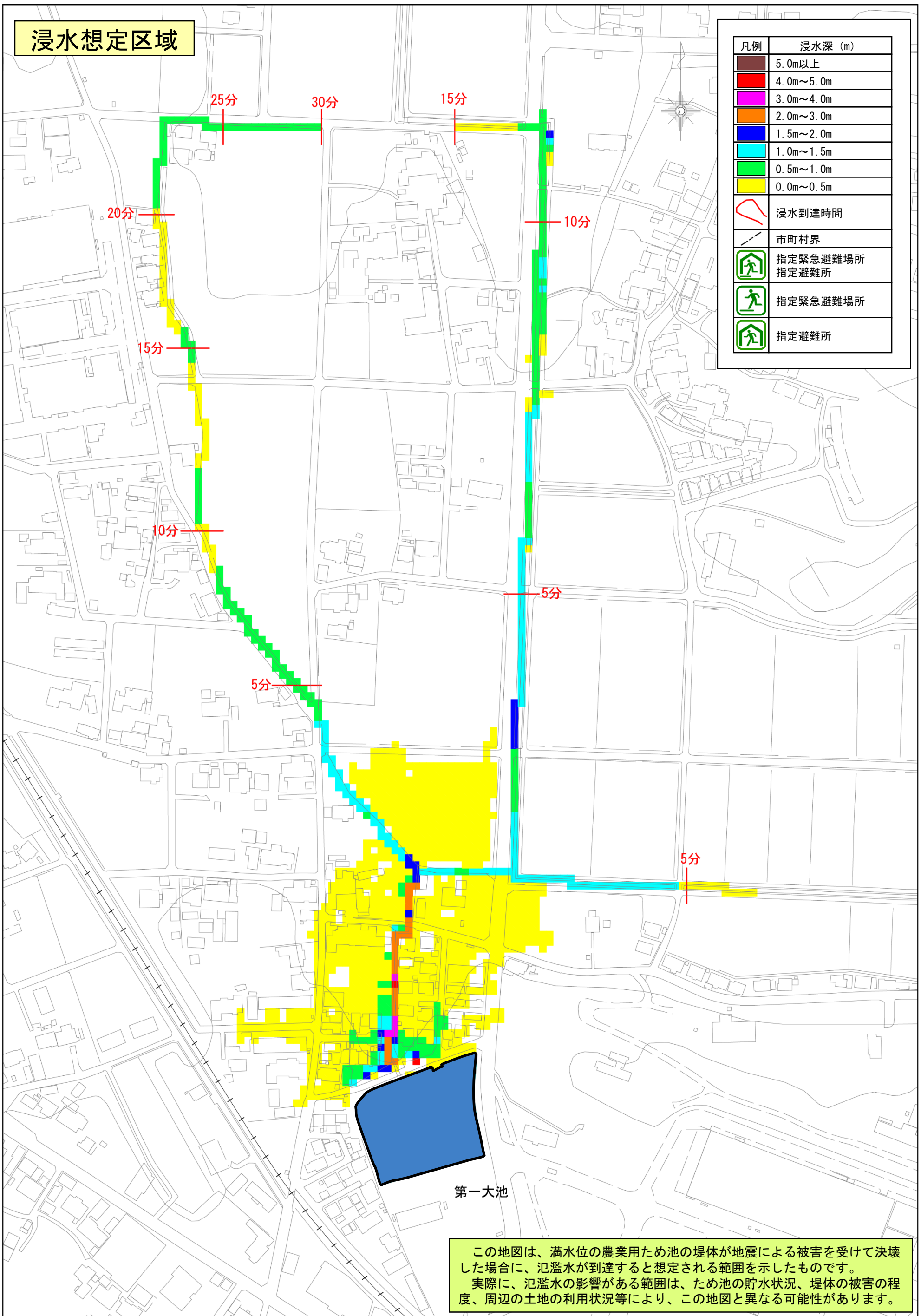


美濃加茂市 第一大池ハザードマップ

浸水想定区域

凡例	浸水深 (m)
	5.0m以上
	4.0m～5.0m
	3.0m～4.0m
	2.0m～3.0m
	1.5m～2.0m
	1.0m～1.5m
	0.5m～1.0m
	0.0m～0.5m
	浸水到達時間
	市町村界
	指定緊急避難場所 指定避難所
	指定緊急避難場所
	指定避難所



ため池の役割

ため池は、美濃加茂市内の農地をかんがいするために造られた貯水池です。ため池の主な役割は、水田などに安定して用水を供給することですが、防火用水としての利用や人命・住宅・農地・道路などを洪水から守るための洪水調整機能の役割も担っています。また、美しい景観や親水空間を提供するとともに、水辺の生物多様性を支える重要な役割を果たすなど、豊かな多面的機能を有し、地域の大切な施設となっています。

ため池の規模



名称	第一大池
堤高	3.00 (m)
総貯水量	6,300 (m³)
最大流出量	61.376 (m³/s)
流出継続時間	3 (分)

最大流出量：1秒間に流出する水の最大量
流出継続時間：ため池から水が流出し続ける時間

浸水区域図作成の条件

堤体決壊条件

ため池が満水状態(総貯水量を貯水している状態)において、地震が発生した場合を想定しています。そのため、決壊が瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。

浸水想定区域とは

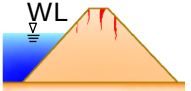
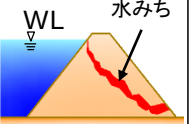
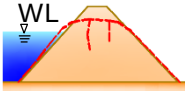
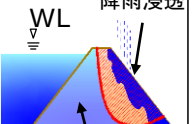
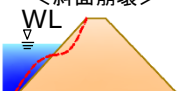
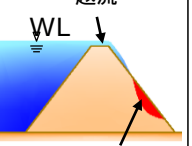
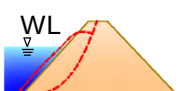
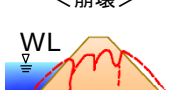
浸水想定区域は、最大流出量(左記参照)と、周辺の地形条件から、解析ソフトにより得られたシミュレーション結果を示したものです。そのため、降雨や河川の水による浸水への影響は考慮していません。
大雨による決壊の場合には、降雨および河川の水量が加わってきますので、浸水区域がさらに広がる可能性があります。

堤体が決壊する被災形態とメカニズム

地震および豪雨により堤体が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のことが想定されています。
堤体の異常に気がついたら、防災関係機関などに緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に退避するようにしてください。

地震により堤体が決壊

豪雨により堤体が決壊

被災形態	被災のメカニズム	被災形態	被災のメカニズム
＜クラック＞ 	堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。	＜浸透破壊＞ 	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
＜沈下＞ 	堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。	＜すべり破壊＞ 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
＜斜面崩壊＞ 	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。	＜越流破壊＞ 	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。
＜斜面すべり＞ 	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。		
＜崩壊＞ 	堤体や地盤が大きく変化し崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。		

避難するときの注意事項

地震による堤体の決壊は、予測が難しいうえ、浸水の到達時間が早いので、事前に備え、自主的に浸水区域の外に避難できるようにしましょう。
ため池の決壊と大雨が重なる時は、浸水想定区域よりも浸水範囲が広がったり、水深が深くなる恐れがありますので、注意してください。

日頃からの準備

我が家の避難経路・避難場所

被害が想定される位置を確認し、いざという時の我が家の避難経路、避難場所、連絡方法を家族で決めておきましょう。

非常持ち出し品の事前準備

荷物は最小限の物にし、いつも取り出しやすい一定の場所に保管しましょう。保存期間等に注意し、交換・補充するようにしましょう。

浸水想定区域外への避難

火元確認を

避難する前に、電気のブレーカー、ガスの元栓、ストーブのスイッチを切るなど火元を消しましょう。

自主避難を

大きな揺れ(屋内では、棚にある食器類が落ちる。屋外では、電柱が揺れる等)があり危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

避難時の注意事項

動きやすい服装で

丈夫な靴、動きやすい服装で、安全な経路を通して徒歩で避難しましょう。単独行動は避け、二人以上の避難を心がけましょう。

浸水は、浅くても危険

水深がヒザまで来ると、歩くことが困難になります。水深が浅くても、流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回することは避けましょう。

車での避難は避けて

車での避難は、交通渋滞を招き、緊急車両通行の妨げになります。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。

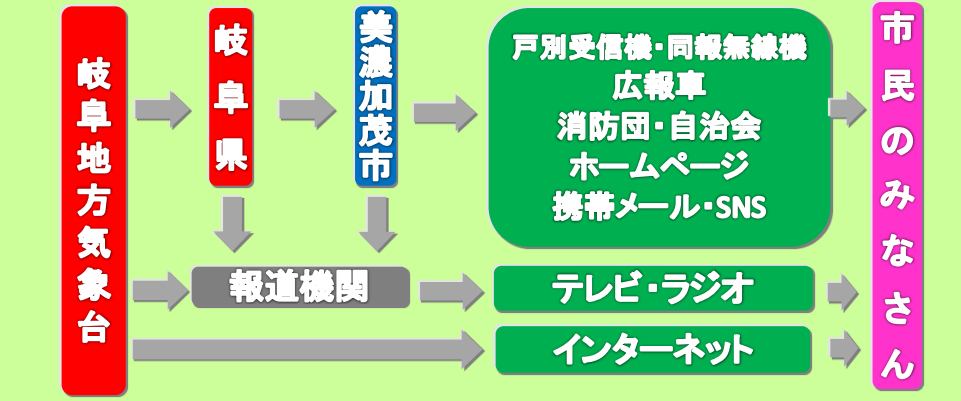
万が一、逃げ遅れたときは

万が一、避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上へ逃げましょう。

各種情報（インターネット・ホームページ他）

関連情報	アドレス	発信元
気象・災害・防災	https://www.city.minokamo.gifu.jp/	美濃加茂市役所
防災防犯メール	minokamo@sg-m.jp に空メール送信	
防災	http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/	岐阜県総合防災ポータル
道路情報	http://douro.pref.gifu.lg.jp/Road_Maintenance/kisei.asp	岐阜県
防災気象情報	http://www.jma.go.jp/	気象庁
	http://www.jma-net.go.jp/gifu/	岐阜地方気象台

情報の伝達経路



緊急時の連絡先

ため池の異常や漏れ、決壊など気づかれた場合は、関係機関等に一報を入れてください。

名称	電話番号	住所
美濃加茂市役所	0574-25-2111	太田町3431番地1
可茂農林事務所	0574-25-3111	古井町下古井2610-1
可茂土木事務所		
加茂警察署	0574-25-0110	古井町下古井2610番地
加茂警察署 蜂屋交番	0574-26-0442	蜂屋町上蜂屋3660-2
加茂警察署山之上警察官駐在所	0574-26-0446	山之上町2541
加茂警察署みの太田駅北交番	0574-27-2017	大手町1丁目3
加茂警察署下米田駐在所	0574-25-7274	下米田町西脇153-1
加茂警察署加茂野駐在所	0574-26-0743	加茂野町今泉428
可茂消防事務組合中消防署	0574-26-0190	加茂川町3丁目7番7号
可茂消防事務組合中消防署中央分署	0574-25-4361	下米田町今536番地1

災害用伝言ダイヤル

171

NTT無料

伝言を登録

171 → 1 → 被災者の電話番号 → 伝言の録音

伝言を聞く

171 → 2 → 被災者の電話番号 → 伝言を再生

指定避難所・指定緊急避難場所一覧

避難所	所在地	電話番号
蜂屋交流センター	蜂屋町上蜂屋3637番地	0574-25-2901
加茂野交流センター	加茂野町今泉1546番地4	0574-25-2493
太田第二保育園	西町3丁目249番地1	0574-25-2282
西中学校	西町1丁目30番地	0574-25-2263
蜂屋保育園	蜂屋町中蜂屋4474番地	0574-25-4554
蜂屋小学校	蜂屋町上蜂屋11番地	0574-25-2904
加茂野保育園	加茂野町鷹之巣1453番地	0574-26-9813
加茂野小学校	加茂野町今泉1541番地	0574-25-2075

指定緊急避難場所一覧

避難所	所在地	電話番号
西総合グラウンド	西町2丁目209番地	—
前平公園	前平町3丁目1番地	—

この地図は、美濃加茂市が作成したものです。

美濃加茂市役所

〒505-8606
美濃加茂市太田町3431番地1 TEL 0574-25-2111 (代)